

事前評価個表

整理番号	17
------	----

地域（地区）名	天神川 <small>てんじんがわ</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鳥取県	対象市町村	倉吉市ほか4町 <small>くらよし</small>
事業実施期間	H31～H35（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は鳥取県中部に位置し、南側に標高1,000mを超える中国山地が東西に連なり、この山地を水源とする天神川が中央部を北上し日本海に続いている。総土地面積78千haのうち森林面積は53千ha（森林率68%）であり、このうち民有林面積は44千haと、本地区の森林面積の83%を占めている。また、民有林の人工林率は56%であり、県平均55%と比較してその割合は高い。</p> <p>本地区では早くから森林組合の広域合併が進み、当該広域森林組合による施業集約化が進められており、森林経営計画の認定率は51%と、県平均42%より高く、今後、集約化による効率的な森林整備が期待される。また、県内初となるオーストリア製タワーヤーダが導入され、当該機械の能力を最大限発揮するための林業専用道の整備に着手するなど先進的な取組も進んでいる。</p> <p>本地区は三朝町<small>みささちょう</small>の小鹿地区や倉吉市の今西地区に古い造林地がみられるほかは比較的造林の歴史が浅いものの、人工林の齢級配置は保育期間を過ぎたⅧ齢級以上の森林が88%と、県平均84%より高く、間伐を主とした適切な森林整備の実施が必要となっている。また、持続的な林業経営を行うためには、高齢級の人工林を皆伐し再造林を行うことで森林の若返りを図り、適切な保育実施に繋げていくことも課題となっている。</p> <p>このため、天神川森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、間伐等の森林整備及び林業専用道等の基盤整備を実施し、良質の木材生産と同時に水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する多面的機能の持続的発揮を目指すとともに、他事業と連携した間伐材の利用を推進し、地域資源の有効活用と地域の振興を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2549ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：6500m 林業専用道</p> <p>総事業費：2,088,940千円（税抜き 1,934,204千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.85 （総便益（B）=10,832,727千円、総費用（C）=2,810,382千円）</p>
評価結果	<p>必要性：施業集約化を進め、効率的な森林整備に取り組む地域であり、持続的な林業経営を行うため、間伐を主とした適切な森林整備の実施が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくりによる水源涵養、国土保全等の森林の公益的機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産を図る事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 鳥取県

地域(地区)名: 天神川てんじんがわ

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <small>かん</small> 便益	洪水防止便益	3,729,065	
	流域貯水便益	907,990	
	水質浄化便益	1,896,145	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,359,151	
環境保全便益	炭素固定便益	760,222	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	8,387	
	木材利用増進便益	12,573	
	木材生産確保・増進便益	526,157	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	1,352	
	森林整備促進便益	631,685	
総 便 益 (B)		10,832,727	
総 費 用 (C)		2,810,382	
費用便益比	$B \div C = \frac{10,832,727}{2,810,382} = 3.85$		

森林環境保全整備事業 天神川地域（鳥取県）

凡	例
計画区界	
事業区域	
整備箇所	

琴浦町

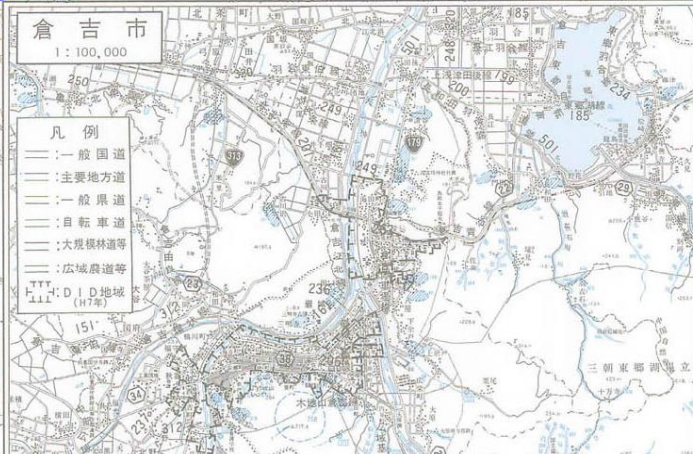
北栄町

湯梨浜町

倉吉市

三朝町

鳥取県全図



岡山県

富村